

負担金の抑制とリサイクル率の向上を図るため、さらなるごみの減量化と資源化の取り組みを推進してまいります。

エゾシカ対策については、国や北海道と連携し、個体数の適正管理のため、計画的な捕獲を引き続き実施いたします。

ヒグマ対策については、地域住民の安全確保や財産を守るため、必要に応じ、関係機関と協力したパトロールの継続や箱罠の設置など、ごみや農作物などに執着した、いわゆる問題個体の的確な捕獲に努めます。

情報ネットワークについては、社会保障・税番号制度による行政手続きや行政事務の電子化に対応し、電子申請の充実を含めオンライン化を進めます。

多彩な資源が輝き、 活力と魅力にあふれるまち

漁業については、近年の記録的なサンマの不漁など、沖合漁業等が厳しさを増す中、今後の安定的な生産を維持するため、厚岸漁業協同組合と連携し、カキ、アサリ、コンブ等沿岸漁業の資源管理や増殖を進めるとともに、昨年9月に発生した赤潮により被害を受けた漁場の回復等の取り組みに対する支援を引き続き行うほか、将来、増養殖が可能な魚種を模索するため、国や北海道、厚岸

漁業協同組合、研究機関等と連携し、陸上養殖を含めた検討を進めてまいります。

また、厚岸漁業協同組合が行う『弁天かき』の種苗生産に必要な幼生・餌料の提供、知識・技術面での協力を引き続き行っています。

漁港の整備については、厚岸漁港における岸壁嵩上げ等の着実な事業推進と、床潭漁港における泊地の静穏域確保に向けた防波堤の早期整備を引き続き国と北海道に要望してまいります。

海岸保全対策については、対策が必要とされる箇所の早期着工を引き続き北海道に要望してまいります。



カキ種苗センターについては、カキの飼育や藻類培養の各設備の適切な維持管理と運用を行い、生産者に良質かつ安定した種苗供給を引き続き行っています。

『カキえもん』養殖については、生産者の努力により生産技術の高度化と均一化が図られ、市場へ安定供給できる体制が整いつつあります。今後も生産者の所得向上に繋げるため、消費者に、より認知されるよう商品の特徴や魅力の周知活動に取り組むとともに、試験研究機関の協力を得ながら、効果的な養殖資材の活用など、高品質なカキを効率よく養殖する技術の確立に向けた取り組みを進めてまいります。

農業生産基盤については、今後も良質な粗飼料を安定して確保するため、道営事業により、町営牧場大別地区の草地整備を継続するほか、太田・片無去地区における営農用水の安定供給を図るため、施設更新整備を実施してまいります。

また、農作業の負担軽減と持続的な酪農経営推進のため、釧路太田農業協同組合が運営するコントラクター事業に用いる農業機械の導入を支援してまいります。

担い手対策については、本年1組の着業が予定されておりますが、引き続き関係機関と連携し、新規就農者の誘致促進を図ってまいります。

中山間地域等直接支払事業と多面的機能支払事業については、地域に根ざした事業展開が効率的に実施できるよう、引き続き支援してまいります。

酪農地帯における長期間の停電や断水などの減災対策や、エゾシカ、ヒグマによる農業被害の防止のほか、家畜ふん尿の適正処理や有効活用について、引き続き釧路太田農業協同組合と連携し取り組んでまいります。家畜防疫については、厚岸町家畜自衛防疫協議会が行う予防注射や各種検査を支援するほか、牛ウイルス性下痢病の感染予防のため、町営牧場・隔離牛舎の衛生管理の徹底を図ってまいります。

町営牧場については、より適正な預託牛の育成・管理を図るため、舎飼いで使用する給水施設とパドックの一部を改修するほか、作業機械の大型化や作業環境の整備、飼養管理技術の向上に取り組んでまいります。

また、ヒグマ被害の防御対策として、職員と預託牛の安全確保を図るため、放牧地へ電気柵を設置いたします。

町有林の整備については、安定した事業量の確保と林業就業者の雇用を図るとともに、持続可能な森林保全を推進するため、計画的な森林施策を進めてまいります。

私有林の整備については、厚岸町